

2 コミュニティ住区を基礎とした整備

1 大沢住区

① 基本的な考え方

大沢住区は、河川軸である野川や国分寺崖線の緑を軸に、残された貴重な自然環境の保全や文化遺産の保存と活用を図る「大沢の里」の整備を推進するとともに、豊かな地形や緑を活かした風景・景観づくりを推進します。

また、野川や国立天文台、国際基督教大学等にみられる豊かな緑や水の自然環境を活かして、うるおいのある快適な空間が維持されるよう緑と水の保全及び創出を図り、低層市街地として良好な住環境を保全するとともに、防犯にも配慮したまちづくりを推進します。あわせて、比較的起伏の多い地域においては、急傾斜地のバリアフリー対応の取り組みを推進します。

土地利用の観点からは、大学が多い地域については、文教研究施設としての環境を保持し、住宅と工業・業務施設が混在している地域は、周辺環境との調和を図りながら、都市型産業、地場産業等の保護・育成を行うほか、幹線道路である天文台通り等の都市計画道路の整備を推進します。

調布飛行場周辺の地域においては、都市計画道路3・4・19号の整備を促進し、都立武蔵野の森公園の防災拠点としての環境整備を図ります。

② 主な事業の方向

- 1 大沢コミュニティ・センターやおおさわ学園羽沢小学校の耐震化を図り、地域の防災拠点としての整備を推進します。
- 2 道路整備については、都市計画道路3・4・19号の整備を促進し、調布飛行場周辺の環境整備を図るなかで、東京都が整備を進めている都立武蔵野の森公園が広域的な防災拠点となるよう引き続き要請します。
- 3 野川周辺については、緑と水の回遊ルートの拠点である大沢の里を中心に、国分寺崖線の樹林や湧水、河川の水辺空間など自然環境の保全を図るとともに、大沢の里周辺地域保全・活用検討委員会の提言等を踏まえ、武蔵野（野川流域）の水車経営農家及び大沢二丁目古民家（仮称）等を軸にして「三鷹型エコミュージアム事業」のモデル事業として推進します。また、地域の歴史、文化財、自然資源を結ぶエコミュージアム関連ルートの整備、学校教育と連携した取り組みを進めます。
- 4 国際基督教大学の緑地等をまちの貴重な資源として地域への開放に向けて引き続き関係者への協力を要請します。また、国立天文台の良好な自然環境を保全する中で、地域に密着した知的資源としてのあり方について引き続き協議を進めるとともに、敷地内に開設した「星と森と絵本の家」の特色ある運営の展開を図ります。
- 5 大学等が立地する地域については、特別文教・研究地区として研究環境の保持に努めるとともに、住宅と工業・業務施設が混在する地域については、周辺環境との調和を図りながら都市型産業・地場産業等の保護育成を図ります。



大沢の里「水車」(三鷹風景百選)

大沢住区



特別商業
活性化地区

交差点あんしん
歩行プラン
(仮称)事業

自転車道の整備

人見街道の歩道整備

特別商業
活性化地区

3・4・20号
(天文台通り)

3・2・6号
(調布保谷線)

中央高速自動車道

凡例

- 平成 22 年度までに完了
- - - - 平成 23 年度以降に実施
- まちづくりの主な取り組み事例
- コミュニティ住区界
- - - - 三鷹市界
- ⊗ 学校

※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、おおよそのイメージです。
なお、本住区内のものを中心に記載しています。